

目指せ っぺん 甲子園



第105回全国高校野球選手権青森大会の決勝より。2年連続12回目の優勝を飾り、マウンドに集まり喜びを爆発させる八学光星ナイン。2023年7月27日、弘前市のほるか夢球場

全国高校野球青森大会 9日開幕

48チーム闘志

第106回全国高校野球選手権青森大会は9日、青森市のダイシンベースボールスタジアムで開幕する。連合1チームを含む48チーム(52校)が出場し、22日までの14日間(12、15、21日は休養日、17、19日は移動日)、県内4球場で熱戦を繰り広げる。春の県大会を9年ぶりに制し、東北大会で準優勝した弘前学院聖愛、春の県大会準優勝の青森山田、

同3位の八工大一、夏3連覇を狙う八戸学院光星、春4強の弘前など、甲子園を目指して今大会に照準を合わせてきた各チームによる実力伯仲の好ゲームが期待される。開会式は9日午前10時半から、同スタジアムで実施。日程を順調に消化すれば、決勝は22日午前10時から、弘前市のほるか夢球場で行う。

出場チーム紹介の見方

▷名簿 6月下旬時点の大会登録メンバー。○数字は背番号、カッコ内は学年、出身中学校。名前の前の○印は主将。

▷過去 夏の大会の過去最高成績(代替大会含む)。1924(大正13)年まで東北6県による予選、25年から30(昭和5)年ま

で奥羽予選(本県、秋田、山形)、31年から県予選。77年までは秋田と岩手、または本県と秋田による奥羽大会、北奥羽大会(本県、岩手)など2次予選も行われた。78年からは、代表が現行の県1校となった。(県高野連史参考)

▷昨夏 昨年夏の青森大会の成績。グラフは主将によるチーム評価(5段階)。

出場チーム紹介 2~7、10、11面

前回大会グラフ 8、9面

春季大会の戦い 12面

組み合わせ、4会場略図 14、15面

八学光星 豊富な戦力 3連覇へ

陣を武器とする。目指すは同
校史上初となる「夏3連覇」。
主将砂子田を軸とした打線の

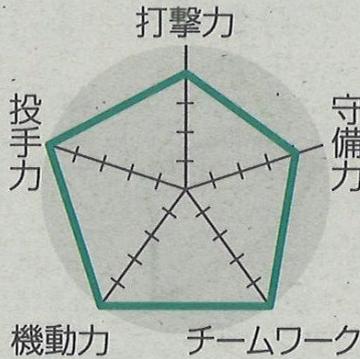


砂子田陽士主将

甲子園で登板経験がある岡
本琉と洗平の両左腕を筆頭
に、それぞれ横手投げの左腕
森田や右腕山田ら豊富な投手

- ①岡本 琉奨 (3、板橋二)
 - ②住本 悠哉 (3、宮山台)
 - ③佐藤 凌 (3、浪岡)
 - ④西川 和摩 (3、霞ヶ浦高付)
 - ⑤竹田 智紀 (3、浜寺)
 - ⑥謝花 俊稀 (3、東風平)
 - ⑦久保 諒之輔 (2、ゆりのき台)
 - ⑧砂子田 陽士 (3、岩切)
 - ⑨山本 優大 (3、長尾西)
 - ⑩森田 智晴 (3、名瀬)
 - ⑪洗平 比呂 (3、御滝)
 - ⑫齋藤 大翔 (3、沖野)
 - ⑬小笠原 由宇 (3、八戸東)
 - ⑭阿部 隼也 (3、北神戸)
 - ⑮後藤 勇 (3、岡谷東部)
 - ⑯岡本 大地 (3、勝山)
 - ⑰寺澤 海音 (3、中部)
 - ⑱山田 義惟 (3、寺戸)
 - ⑲佐藤 悠貴 (2、男鹿東)
 - ⑳渡部 主衣 (3、武蔵村山一)
- 責任教師 小坂 貫志
監督 仲井 宗基

つながりが鍵を握る。
▽過去 優勝(平成9、12、
13、15、23、24、26、28、30、
令和元、4、5年)
▽昨夏 優勝



野辺地西 全員が攻撃の起点に

ム一の信頼感がある1番塩倉
が出塁しリズムをつかめる
か。主戦花部は緩急で打たせ

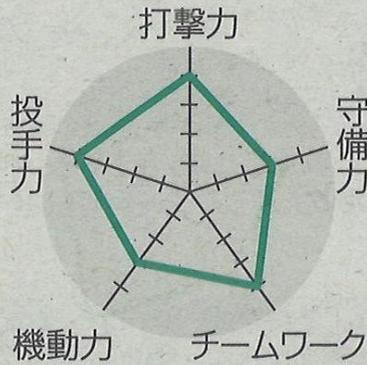


芋田 道生主将

どの打順でも勝負できる切
れ目のない打線が持ち味。さ
らに勝負強さを磨くため、バ
ットを振り込んできた。チー

- ①花部 巧真 (3、東 通)
- ②芋田 道生 (3、野辺地)
- ③小山田 晃哉 (3、十和田)
- ④吹越 清弥 (3、上 北)
- ⑤鈴木 海星 (3、百 石)
- ⑥塩倉 蓮 (3、大 野)
- ⑦太田 光洋 (3、六ヶ所一)
- ⑧橋本 葵馬 (3、横 浜)
- ⑨天摩 誠拡 (3、八戸東)
- ⑩妙川天賜郎 (2、八戸一)
- ⑪今井 洸希 (2、田名部)
- ⑫泉 一真 (2、山 下)
- ⑬橋本 豪 (3、東 通)
- ⑭米倉 匠永 (2、上 北)
- ⑮木村 厚太 (3、小中野)
- ⑯竹ヶ原優生 (3、十和田)
- ⑰坂本 源斗 (3、天間林)
- ⑱坂本 晃紀 (2、天間林)
- ⑲佐々木翔奨 (2、三沢二)
- ⑳玉澤 海人 (1、白銀南)

責任教師 成田富美仁
監督 蒔苗 公一



て取る投球で臨む。昨夏のメ
ンバーが多く残る経験値も生
かし、まずは8強を狙う。
▽過去 準優勝
▽昨夏 3回戦進出